

## 第100回国際年次総会インディアナポリス大会

- (1) 日程：2015年6月24、25、26、27日
- (2) 場所：米国インディアナポリス・コンベンション・センター
- (3) 参加者：小川ガバナー代理、倉田次期ガバナー、  
北里国際理事をはじめとして、  
東京、名古屋、神戸、仙台、横浜、高松、西宮、鹿児島、大分、秋田  
の各クラブから総勢36名（うち代議員13名、広域代議員9名）
- (4) 主なスケジュール



6月24日（水）：

- ① 国際キワニス役員会
- ② 午後の歓迎レセプションの後、ガバナー・クラスタ食会

6月25日（木）：

- ① モニュメント・サークルでのパン  
ケーキ昼食会—エリミネイト・プ  
ロジェクトへの寄付に資するため。
- ② 次々期ガバナー候補の会議
- ③ ASPAC 合同役員会
- ④ 2013-2014 優秀地区夕食会
- ⑤ 開会祝賀会—キワニス世紀と称し  
てキワニスの過去100年の歩みが  
紹介された。また、キーノート・スピーカーとして、障害のある身でありながらレストラン  
経営に成功したティム・ハリス氏の講演。
- ⑥ エリミネイト・プロジェクト祝賀会



6月26日（金）：



- ① 親睦朝食会—ワールド・サービス・メダルがエイズ流行の沈静化に貢献したステファン・ルイス財団に贈呈された。
- ② 総会—ジョン・バトン国際会長の挨拶のあと、グンター・ガッサー前国際会長が2013-2014年優秀地区（17地区）を発表し、日本地区（小川前ガバナー、石原事務総長）も表彰を受けた。また、KIF ロバート・パルトン会長の挨拶、スタン・ソーダストロム国際専務理事の報告に続いて、国際規約改正案の審議、役員選挙が行われた。
- ③ 地区キワニス財団の会議
- ④ 野球場でのキワニス花火大会—マイナー・リーグの地元インディアンズとシラキウスの試合の後、100周年を祝って花火が打ち上げられた。

6月27日（土）：

- ① 次期ガバナー朝食会
- ② 国際キワニス・カウンセラー会議—日本地区担当のケン・アロベラ国際理事（フィリピン・サウス）と埼玉大会のスケジュール等を打ち合わせ。
- ③ 閉会祝賀会一次の100年と称して、スー・ペトリシン次期国際会長から、キワニスの次の100年に向けてのキワニス活動の強い決意が述べられた。
- ④ スー・ペトリシン次期国際会長主催レセプションと夕食会—各地区次期ガバナーを中心に、チーム・キワニスの結束を誓い合った。
- ⑤ Up with People コンサートと次世紀のダンスパーティ

(5) 特記事項

- ① 国際キワニス100年の歴史を経て、初めての女性国際会長となるスー次期会長の会議運営等には、閉会式でのジョン会長とのキワニスの未来に対するトークの掛け合い、式が予定より20分以上早く終わるといったことに見られたように、今までにない新しい息吹が感じられた。
- ② 国際規約改正案（9案）のうち主なものでは、「会員一人当たりの国際会費の10ドルの値上げ（A層国52ドル、B層国34ドル、C層国23ドル）」は75%の賛成で可決された。また、「国際キワニスの代議員投票をオンラインで出来るようにし、全てのキワニスクラブに投票権を与える」、「国際キワニスの会費を毎年前年比5%以内で調整する」、「国際キワニス財団及び関係機関への監督権限を持つことを明確化する」は各々否決された。
- ③ 次期国際役員については次の通り選出（会長、次期会長は無競争）
  - 会長 スーザン・A・“スー”・ペトリシン  
（ミシガン州ランシング）
  - 次期会長 ジェーン・M・エリクソン  
（ネブラスカ州ベルビュー）
  - 副会長 ジェームス・M・ロッチフォード  
（イリノイ州ピオリア）
  - 新しい国際理事として米国・太平洋カナダ地域から3名、欧州地域から1名（6月上旬のヨーロッパ・フェデレーション年次総会で選任）が選出された。
- ④ 一昨年同様、キークラブ、サークルKの国際大会が同時に開催された。



- ⑤ 国際キワニス本部のオフィス・ツアーが3日間にわたり企画され、多くのキワニアンが会長室、ボードルーム、事務運営部門などの本部内部を視察した。
- ⑥ 今から100年後に開ける国際キワニス・タイムカプセルに入れる記念小物が募集されたが、日本地区からキワニスマガジン62号、日本地区のバナレット、桜のキワニスバッジを提出（各地区からの提出物に対して、選択は国際キワニスに一任）。